



学び合う喜び

校長 木田 喜代美

朝夕の空気が、冷たく張り詰めてきました。校庭の木々も少しずつ色づき始め、季節の変化を感じます。

先日、数年前の新聞のスクラップを整理していたところ、気になる記事がありました。12歳の小学生が投稿した記事でしたが、内容を大まかにまとめると、『算数の授業で問題が解けずに悩んでいたら、一人の友達が教えに来てくれ、その後も二人の友達や先生も来て、しまいにはクラスの皆が来て教えてくれた。皆は真剣に教えてくれ、自分は申し訳ないと思った。でも、本当に嬉しかった。チャイムが鳴り、授業が終わって泣き出してしまった』というものです。

なぜ、この子は泣き出してしまったのでしょうか。子供たちに問いかけたら、問題が解けずに恥ずかしかった、悔しかったから、皆が教えてくれたので嬉しかった・・・きっと様々な答えが返ってくることでしょう。この子は、続きにこのように記していました。『横にずっといてくれた友達が、「悔しかったよね。」と声をかけてくれた。でも、問題が解けない悔しきや恥ずかしきよりも、とても嬉しい気持ちだった。皆の優しさを思ったら、涙がこぼれた』と。問題を解けずにいる友達に、その子がわかるように教える。「わかった！」解けたときの喜びや達成感を感じるのは、教えてもらった子だけでなく、教えた子も同じでしょう。自分のヒントで友達が問題を解くことができた。そのことで、さらに勉強したい、友達に教えてあげたい、と思う。そして、友達の考えに触れる、友達の考えと自分の考えを比べることで自分の考えを再構築し、深めていく。双方の学びが広がり、学びへの意欲が高まります。まさに学校だからこそできる『学び合い』です。そして記事は、『教えてくれたクラスのみんな、授業の後も一緒にいてくれた友達、どうもありがとう』と結ばれていました。わからないでいる友達をからかったり、馬鹿にしたりすることなく、友達の気持ちに寄り添うことができる。しかも、一人や二人だけでなくクラス全員の友達や担任と一緒に考えられる。このような学級では、いじめは起こらないことでしょう。子供たち一人一人が、学び合う喜び、楽しさを感じ、互いに認め合い、大切にしよう学級、学校を目指してこれからも日々の教育活動を充実させていきたいと改めて強く思いました。

いよいよ11月16、17日は、学芸会です。当日に向けて子供たちが、友達と力と心を合わせ、一つの作品を創り上げていきます。子供たちが、大きく成長する大切な行事です。多くの皆様のご来校、ご鑑賞をお待ちしています。

11月の行事予定

11月は、「子どもの心サポート月間」です。

算：算数クラブ(中：中学年 高：高学年) SC(スクールカウンセラー)		算
1	木	
2	金	保護者による読み聞かせ(1,2年)学芸会係活動①(5,6年)4年5校時まで 中
3	土	文化の日 東京都教育の日 高畑フェスタ
4	日	
5	月	全校朝会 保護者による読み聞かせ(5,6年)委員会活動 生命尊重週間始
6	火	安全指導 SC
7	水	児童集会 高
8	木	
9	金	学芸会係活動②(5,6年)4年5校時まで生命尊重週間終 SC 中
10	土	
11	日	
12	月	全校朝会
13	火	SC
14	水	学芸会会場準備(6年)
15	木	学芸会リハーサル
16	金	学芸会(児童鑑賞日) SC
17	土	学芸会(保護者鑑賞日)給食あり学芸会会場片付け(5年) 地域教育連絡協議会
18	日	
19	月	振替休業日
20	火	全校朝会 避難訓練 個人面談①
21	水	体育朝会 交通安全教室(全) 高
22	木	福祉体験(4年)マラソンタイム 個人面談②
23	金	勤労感謝の日
24	土	
25	日	
26	月	全校朝会 クラブ活動
27	火	ミルク教室(4年)マラソンタイム 個人面談③ SC
28	水	音楽朝会 午前授業 高
29	木	就学時健診(1~4年、6年午前授業)マラソンタイム
30	金	社会科見学(4年) 個人面談④ SC 中

11月の読み聞かせ

2日(金) 4年生
9日(金) 3・6年生
30日(金) 1・2・5年生



学芸会に向けて

学芸会委員長 塚越 智夏

11月16日(金)・17日(土)に、2年に一度の学芸会が行われます。これから、子供たちは、学年で一つの劇を創り上げるために、力を合わせて練習を重ねていきます。「どうしたら役になりきれるか」「どのように演技したら見ている人に喜んでもらえるか、感動してもらえるか」、悩みながらも当日の舞台が成功するように頑張って練習をしていきます。練習を通して、友達と協力する心、目標に向かって努力する心が、きっと育ってくれることと思います。

当日は、保護者の方々や地域の皆様の拍手で、子供たちは満足感や達成感を感じることができ、それが次への活力につながっていきます。

学芸会本番での子供たちの輝く姿をぜひご覧ください。そしてたくさんの温かい拍手をお願いいたします。



11月の生活目標 「人や物を大切にしよう」

生活指導部 田爪 早紀

- ・協力してそうじをしよう。
- ・相手の立場になって考えよう。
- ・わくわく言葉を意識して使おう。



友達を大切にするためには、相手の気持ちを思いやる優しい心と、正しく判断する力が必要です。わくわく言葉を意識して使いながら、相手の立場になって考えるよう改めて指導していきます。また、物を大切にするために、自分の持ち物に名前を書くことや、元の場所にきちんと戻すことも声をかけていきます。

外国語活動について 外国語活動部 八木 義嗣

2020年、オリンピック、パラリンピックが日本で開催されます。様々な国の人達をゲストとして迎え入れるこのような機会に、子供たちが多様な文化の存在に気付き、互いを尊重し合いながら積極的にコミュニケーションを取ることができるよう、「英語に親しむ」ことが小学校における外国語活動の主な目的です。

また、2020年には学習指導要領が改訂され、5年生以上は教科としての「英語」となり、これまでの「聞く・話す」活動に加え、「読む・書く」活動も始まります。中学校の英語科にスムーズに移行できるよう、じっくりと子供たちの英語力を育てていきます。

【5年 俳句】

移動教室の思い出



【一組】

・ やってくる なみと共に 海の声

I・H

・ 伊豆高原 星はきれいに 見えるかな

K・K

・ サボテンが わくわくしてる 育つのを

H・N

【二組】

・ 大室山 富士の絶景 きらきらり

O・K

・ キャンドルの 光はまるで 星のよう

K・S

・ ハイキング 柔っぱの絨毯 舞い上がる

K・H

【三組】

・ 伊豆の鳥 声聞き心 おだやかに

K・M

・ 海の声 海も笑うよ ザアザアと

S・M

・ ハイキング 苦勞に苦勞 絶景だ

T・Y

【四組】

・ 下見ると どんぐりたくさん 博物館

S・R

・ ふと見えた 夜の名月 母思う

S・M

・ 夜長では ぼくらを寝かす どこまでも

Y・R